

読者とネットする
コミュニケーション
マガジン [サーイ・イサラ]

saai isara

<http://isara.biglobe.ne.jp/>

5
MAY 2005



期待の新作から往年の名作まで
インターネットde
映画三昧!

地域の活力を目指す、商店街のこれから

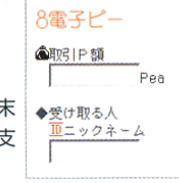
●千葉市ゆりの木商店街



虎岩さん(右)と握手するピーナッツ加盟店「壁の穴西千葉店」のマスター(左)。実際に「ピーナッツ」がやり取りされる際には、このように握手して「アミーゴ!」と声をかけ合う。

NPO法人 TRYWARP
虎岩雅明さん

携帯電話やお店のネット端末で「ピーナッツ」を登録・支払いができる。



合い言葉は「アミーゴ!」 握手から広がる地域の輪

「ピーナッツ」は、千葉県で使われている地域通貨です。お店が独自の基準で「ピーナッツ」をお客さんに渡すことができ、「買った値段の〇%」「〇円以上で50ピーナッツ」という感じで渡されます。もらった「ピーナッツ」は「大福帳」というカードに記入され、加盟店で通貨として利用することができます。

昨年からは、ネットでの決済もできるようになりました。店頭端末や携帯電話でも「ピーナッツ」の登録・支払いが可能になり、現在までの半年間で約100万

ピーナッツ(100万円相当)の取引がネットを通じて行われました。商店街の方からも「新しいお客さんが増えた」「売上げがアップした」といった声をいただいています。現在ピーナッツ会員は県下で1,000人。将来的には全県民の1割の60万人の会員獲得が目標です。

「ピーナッツ」はもらうときや支払うときに「アミーゴ!」と言って握手する決まりがあるんですよ(笑)。その身近さとIT技術がうまく融合して、商店街の活性化につながっていけばと思いますね。

ピーナッツクラブ西千葉

<http://p-nishichiba.net/>